

令和4年度 株式会社野地組SDGs活動評価

(評価期間 2022年4月1日~2023年3月31日)

株式会社野地組

環境に配慮した事業活動

【主な取り組み】

環境マネジメントシステム「ISO14001」認証取得

「ISO14001」は2009年8月27日に初回認証登録し、2022年8月2日、3日の両日サーベイランス審査が実施された。

総合判定結果として、マネジメントシステムが有効に運用されていることが確認され、不適合は提示されなかった。

環境負荷低減型重機の導入

環境負荷低減型重機については現在も導入を進めている。今後も低騒音、低振動型且つ排ガス規制に対応する重機を導入する。

なお、令和4年度については、自社所有機械としての新たな導入は無かったが、リース機械の使用においては30台の環境負荷低減型重機を各工事現場で活用し環境への配慮を行った。

太陽光発電事業

当社の敷地内で温暖化ガスを発生しないクリーンなエネルギーである太陽光発電設備を設置し、環境に配慮した経営を行っている。

2022年4月から2023年3月までの1年間受電電力量は65,780.5kwhであった。

健康経営の実現

【主な取り組み】

コンプライアンスの遵守

毎月の全体朝礼でコンプライアンス違反が未然に防げるよう、社内ですべきルールについて社員に周知徹底を図っている。また、社員向けにセミナーを開催したり、冊子を作って配布するなどの教育を行っている。また会社役員等で現場のパトロールを実施し安全管理上問題点が無いよう直接指導を行っている。

健康経営優良法人及びふくしま健康経営優良事業所認証

経済産業省による地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を検証する制度

である「健康経営優良法人」に認定された。また福島県からは積極的な健康増進の取組を行っている中小企業として「ふくしま健康経営優良事業所」の認定を2020年より継続して受けている。

「仕事と生活の調和」推進企業認定

育児休業、介護休業等に関する規則については法定基準を上回る内容に改訂を行い、経営者自らイクボス宣言し、休業取得しやすい環境と周知の徹底を図っている。

また、福島労働局から令和4年度次世代育成支援対策推進法に基づき労働者の子育て支援に取り組んでいる「くるみん認定企業」に認定された。

「働く女性応援」中小企業認定、健康増進手当の支給

当社では、産前産後休業制度や育児休業制度により、働く女性のサポートを行っている。今年度は育児休業制度を1名、短時間勤務を2名、それぞれの休業制度を活用した。

また、健康増進手当では非喫煙者に毎月3千円、非メタボ者に毎月2千円の手当を支給しており、社員64名中43名が受給し健康増進を推進している。

地域貢献

【主な取り組み】

地域からの人材採用

毎年、地域から社員を採用しているが、今年度は新卒高校生男子1名、中途採用2名が入社した。次年度には新卒高校生男子4名女子1名の入社がすでに内定している。今後も地域の高校、短大等のもとより、中途も含め地域からの人材を採用し地域貢献したい。

地域資源の積極活用

地域資源である県産木材については約15件の工事現場で使用しており、砕石、砂等の骨材についてもほぼすべての工事現場において県産材を使用している。今後も地域資源の積極的な活用を推進する計画である。

高校生職場体験の受け入れ

毎年、県北地区の職場体験を希望する高校生を受け入れており、今年度は3名の男子高校生が参加した。また、職場見学にも10名の男女高校生が建設工事中の現場を見学した。後日当社に送付された礼状には見学した工事現場に高い興味を持ったことが記されていた。地域建設業の発展と理解促進のため今後も職場体験を継続して行きたい。

献血活動への協力

当社では、年2回本社前駐車場に献血車両が来社し社員が献血を行っている。2022年6月に18名、同10月には9名が献血に協力した。

消防団活動への参加

現在、社員の3名が現役の二本松市消防団員であり、地域社会の一員として積極的に活動

に参加しており持続可能な地域社会の実現に貢献している。

地域の清掃ボランティア活動

毎年、年末に実施している清掃ボランティア活動においては、今年社員16名が参加し安達駅周辺のゴミ拾いを実施した。清掃活動については報道機関から取材を受けている。

また、各工事現場においても工期内に3回程度、地域のごみ拾いや道路の清掃を行っており、地域から高い評価を得ている。

福島ファイヤーボンズスポンサー

当社は地域プロスポーツを支援する立場として2020年シーズンより福島ファイヤーボンズのオフィシャルゴールドパートナーを務めている。ファイヤーボンズは今シーズン2年連続でプレーオフ進出を果たしたものの惜しくもB1昇格を逃した(2023年5月)。クラブ10周年の来シーズンこそ目標を達成し、福島のバスケットシーンを大いに沸かせてくれることを期待したい。